



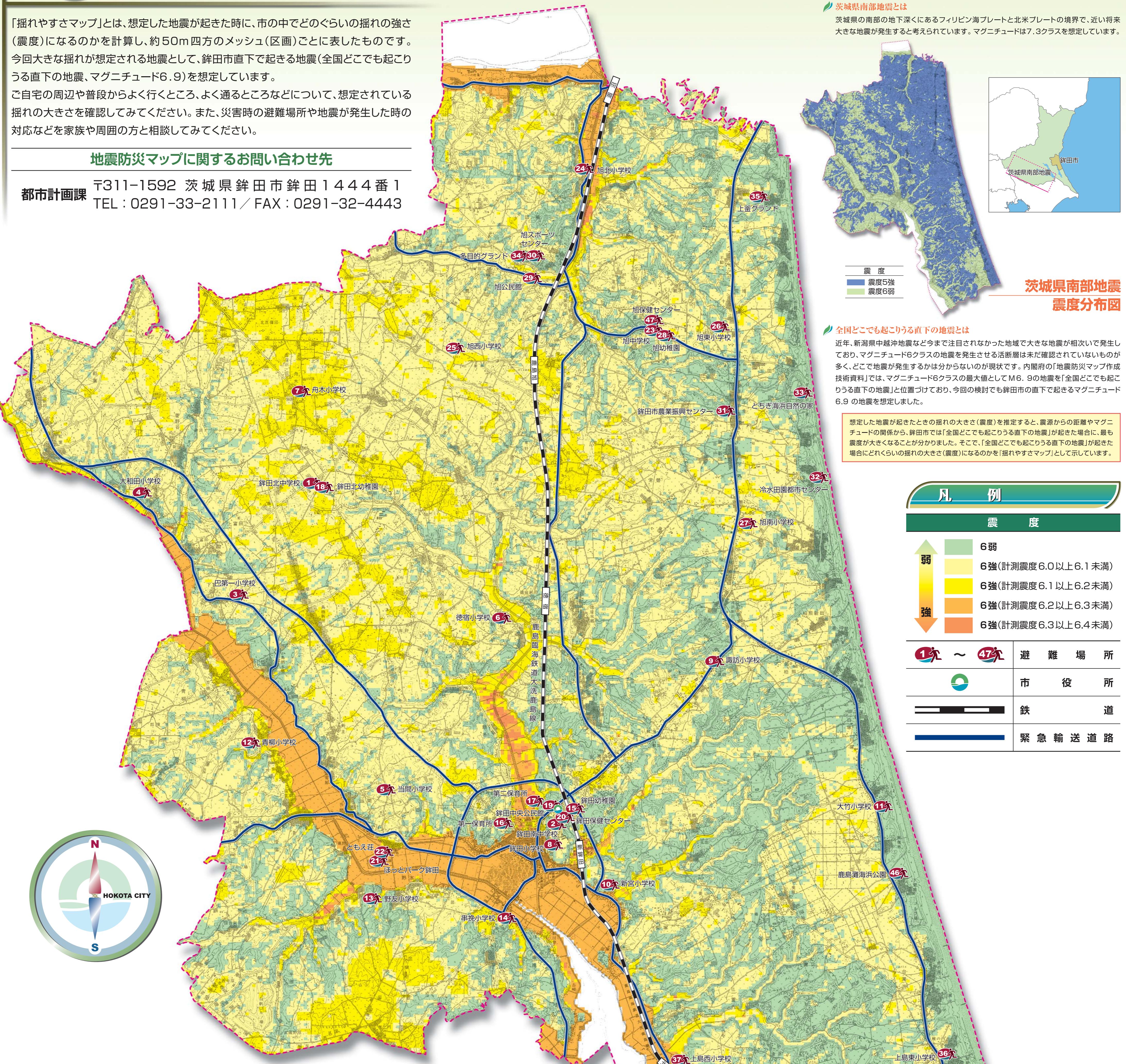
鉢田市 地震防災マップ 摆れやすさマップ

「揃れやすさマップ」とは、想定した地震が起きた時に、市の中でどのくらいの揃れの強さ(震度)になるのかを計算し、約50m四方のメッシュ(区画)ごとに表したもので、今回大きな揃れが想定される地震として、鉢田市直下で起きた地震(全国どこでも起こりうる直下の地震、マグニチュード6.9)を想定しています。

ご自宅の周辺や普段からよく行くところ、よく通るところなどについて、想定されている揃れの大きさを確認してみてください。また、災害時の避難場所や地震が発生した時の対応などを家族や周囲の方と相談してみてください。

地震防災マップに関するお問い合わせ先

都市計画課 T311-1592 茨城県鉢田市鉢田1444番1
TEL: 0291-33-2111 / FAX: 0291-32-4443



想定した地震

鉢田市に大きな被害を及ぼすと考えられる地震として、「茨城県南部地震」および「全国どこでも起こりうる直下の地震」の2つの地震が考えられます。

茨城県南部地震とは

茨城県の南部の地下深くにあるフィリピン海プレートと北米プレートの境界で、近い将来大きな地震が発生するに考えられています。マグニチュードは7.3クラスを想定しています。



茨城県南部地震
震度分布図

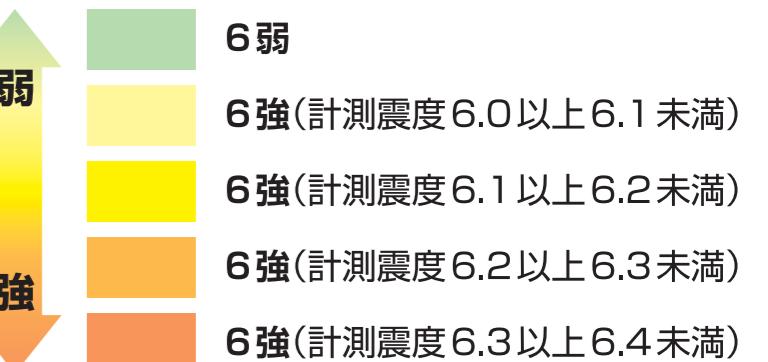
全国どこでも起こりうる直下の地震とは

近年、新潟県中越沖地震など今まで注目されなかった地域で大きな地震が相次いで発生しており、マグニチュード6クラスの地震を発生させる活断層はまだ確認されていないものが多く、どこで地震が発生するかは分からぬのが現状です。内閣府の「地震防災マップ作成技術資料」では、マグニチュード6クラスの最大値としてM6.9の地震を「全国どこでも起こりうる直下の地震」と位置づけており、今回の検討でも鉢田市の直下で起きたマグニチュード6.9の地震を想定しました。

想定した地震が起きたときの揃れの大きさ(震度)を推定すると、震源からの距離やマグニチュードの関係から、鉢田市では「全国どこでも起こりうる直下の地震」が起きた場合に、最も震度が大きくなることが分かりました。そこで、「全国どこでも起こりうる直下の地震」が起きた場合にどれくらいの揃れの大きさ(震度)になるのかを「揃れやすさマップ」として示しています。

凡例

震度



| | |
|----------|--------|
| 1人 ~ 47人 | 避難場所 |
| | 市役所 |
| | 鉄道 |
| | 緊急輸送道路 |

震度と揃れによる周囲の状況

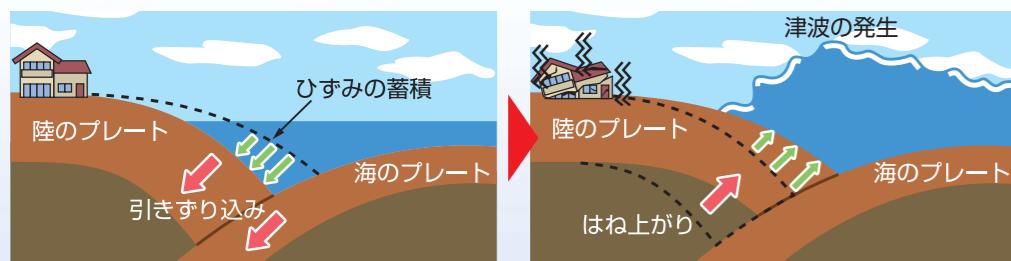
| | | |
|-----|--|--|
| 3.5 | | ほとんどの人が驚く。 電灯などの取り付け物は大きく揃れる。 座りの悪い重物が、倒れることがある。 |
| 4 | | 大半の人が、恐怖を感じ、物につきまとい感じじ。 物にある食器類や本で落ちることがある。 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。 |
| 4.5 | | 物につかまらないと歩くことが難しい。 物にある食器類や本で落ちることが多くなる。 固定していない家具が倒れることがある。 補強されていないブロック扉が割れことがある。 |
| 5弱 | | 立っていることが困難になる。 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 耐震性の低い木造建物は、瓦が落したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。 |
| 5強 | | はねないと動くことができない。飛ばされることもある。 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。 |
| 6弱 | | 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。 |
| 6強 | | 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。 |
| 6.0 | | 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。 |
| 6.5 | | 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。 |
| 7 | | 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。 |

地震の起こるしくみ

日本は「陸側のプレート」と「海洋プレート」の境界に位置しており、地震が多く起きる地域です。地震の起こり方は、大きく、「海溝型地震」と「活断層で発生する地震」の2種類に分けられます。

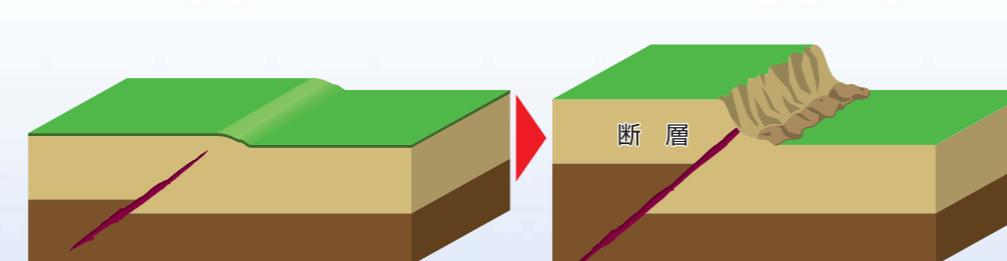
海溝型地震とは

海洋プレートが陸側のプレートの下にもぐり込むときに、陸側のプレートの先端を引きずり込んでいます。ある限界になると引きずり込まれた先端が元に戻ろうと跳ねて、地震が発生します。



活断層で発生する地震とは

海洋プレートに引きずり込まれることにより、陸側のプレートの内部では押されたり引っ張られたりする力が働き、あちこちでひび割れが生じます。その力に耐えられなくなると、地表から比較的浅い所の岩盤が、割れた面に沿って動くことにより地震が発生します。



震度とマグニチュード

地震のエネルギーの大きさを「マグニチュード」と呼び、地震の規模を示すときに用いられます。これに対して、ある場所での揃れの大きさを「震度」と呼びます。マグニチュードが大きい地震でも、震源が遠かったり深かつたりすると、震度が小さくなります。マグニチュードが

1増えると、地震のエネルギーは約32倍になります。したがって、マグニチュード8の地震は、マグニチュード7の地震の約32倍ものエネルギーをもった地震であるといえます。

0 1km 2km

ここで表示した震度は、地震の規模や震源からの距離により想定される平均的な揃れの強さであり、地震の発生の仕方によっては、揃れの強さは表示された震度よりも大きくなったり、小さくなったりすることがあります。

この地図は、国土地理院の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。(承認番号: 平21閲改、第150号)
平成22年1月作成。平成26年9月一部変更